

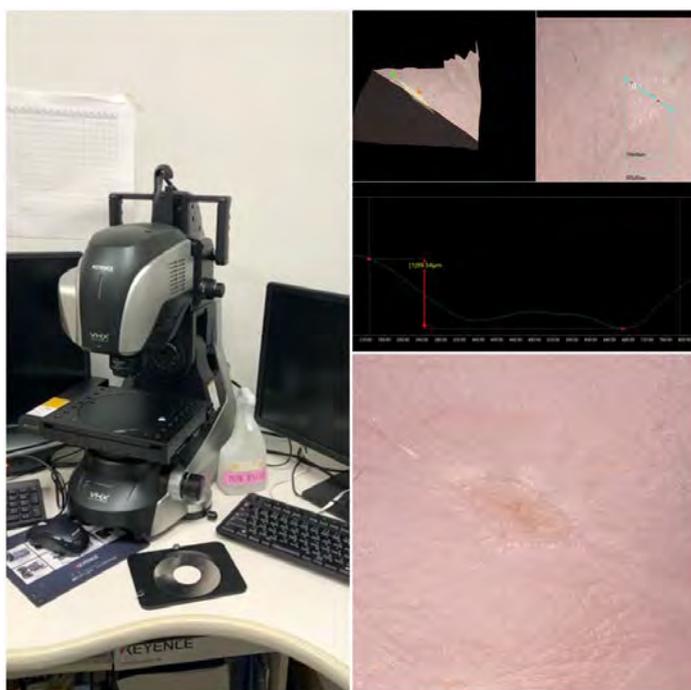
研究室紹介

慶應義塾大学形成外科

荒牧 典子

慶應形成外科の研究室は、“瘢痕を残さない創傷治癒”を目指し、貴志教授の研究テーマであった胎仔の創傷治癒の研究をメインに行っていました。最近ではイモリの再生研究や老化の研究も活発に行い、成果を上げております。研究室は小さいながらも、一連の基本的な機器が揃っており、形成外科独自でマウス室も所有しています。また今年になり、KEYENCE VHX digital microscopeを導入し、皮膚の繊細な観察や計測を行うことが可能になりました。

当研究室の特徴として、貴志教授の下、各研究者が横並びになって自分の研究を遂行している、というのが特徴です。“研究を上から押し付けられることなく、各人の自由なアイデア・発想が受け入れられる環境の中にも、密なディスカッションで周囲の助言を受けつつ自分の研究を遂行することができる”ということが最大の強みであると考えています。現在は、常勤スタッフに加え、大学院生5名(うち中国から1名)、慶應義塾大学薬学部生4名、医学部生4名といった若手中心の活気ある研究室となっています。コロナ禍におけるwebミーティングの普及により、当研究



3次元皮膚解析



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2022.11

No.132

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail : info@jswh.com

URL : <https://www.jswh.com>

室でも週1回の朝8時からの研究室全体のミーティングに加え、各班のsmallミーティング、また他施設との共同研究のミーティングも多く行われています。コロナ禍では、大人数での研究の制限など試行錯誤した時期もありましたが、結果的にコロナ禍以降、急速に研究が進行している状況です。創傷治癒学会の研究奨励賞を始め、日本形成外科学会学術奨励賞基礎部門最優秀賞、抗加齢学会学術奨励賞など数々の受賞者も出ております。

私が20年近く前(?!)本学会に初めて参加した時に、外科の先生や基礎の先生など様々な分野の創傷治癒の発表に新鮮な感動と驚きを受けたことを思い出します。この学会の最大の強み・面白さである、多職種参加による研究はこれからの時代、益々注目されていくことと思います。私たちも、形成外科医ならではの自由な発想で、研究を続けて行けたらと思っております。



右:培養室
左上:細胞観察顕微鏡
左下:マウス胎仔手術の様子



上:貴志教授、筆者および研究室メンバーと学会会場にて
左下:貴志教授と受賞の石井龍之先生
右下:受賞の鈴木悠史先生

WRRに会員の論文が掲載されました

会員の論文が Wound Repair and Regeneration の Volume30 Issue No.5 に掲載されました。論文名、会員の著者は下記の通りです。

投稿規程に関しましては、Wiley Online Library の本ジャーナルホームページの機関誌概要下にある濃緑色のナビゲーションバーより、<CONTRIBUTE> ⇒ <Author Guidelines> と進んでいただくか、以下の URL へアクセスして入手してください。

<https://onlinelibrary.wiley.com/page/journal/1524475x/homepage/forauthors.html>

なお、投稿方法は、ホームページからのオンライン投稿（要ログイン）となっております。

“Evaluation of foot ulcer incidence in diabetic patients at a diabetic foot ulcer prevention clinic over a 10-year period”, (*Wound Repair and Regeneration* , 30:5, P.546 – 552)

大江 真琴 先生 （金沢大学 医薬保健研究域保健学系）
 福田 真佑 先生 （横浜市立大学医学部 看護学科 看護生命科学領域）
 真田 弘美 先生 （石川県立看護大学 学長）



漢方は、自然から。

漢方は、たくさんの人の手と想いを経て生まれます。

長い年月をかけて、樹木が豊かな山を育み、その山で水が蓄えられる。

山で磨かれた水が、生薬をつくるための畑に注がれ、
生産農家のみなさんによって大切に育てられる。

人が本来持っている自然治癒力を高め、生きる力を引き出すことを目的とした漢方にとって、「自然」はいのちを強くする力そのものです。

その力をそこなく、すべての人が受け取れる形にして届けたい。
そして健康に役立ててほしい。

100年以上、自然と向き合いつづけてきた私たちツムラの願いです。

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。

ツムラ
www.tsumura.co.jp

資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
 [医療関係者の皆様] 0120-329-970 [患者様・一般のお客様] 0120-329-930
 受付時間 9:00～17:30 (土・日・祝日は除く)